

昭和63年度総会御案内

本庄高等学校同窓会員各位

本庄高等学校同窓会 会長 岡 祐 孝

陽春の候、会員の皆様には、ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は同窓会活動に関し、種々ご高配にあずかり、有難く厚く御礼申し上げます。

さて、私たちの誇りとする、埼玉県立本庄高等学校同窓会は、本年3月新たに、全日制408名、定時制16名、計424名の卒業生を新入会員としてお迎えし、更に大きく飛躍発展して、今や会員数2万3千有余名を数える大組織と相成りました。

そして、親愛なる会員各位が、国内はもとより海外に於ても各界各層で、極めて多彩な活躍をし、母校の名誉を高めつつあることは、ご同慶に堪えない次第であります。

4月8日、日頃の研鑽の甲斐あって、目出たく母校に入学を許可され、私たちの後輩となられた新入生諸君には、どうか先輩各位の偉大なる足跡と、栄誉に追随し、それを乗り越え、県北の雄「本庄高校」の生徒たるに恥じぬよう努力し、日夜研鑽に励むよう、希望します。来たる6月11日(土)、昭和63年度、埼玉県立本庄高等学校同窓会通常総会を埼玉グランドホテル(本庄)に於て、開催いたします。

会員各位の多数のご参会を、心よりお待ち申し上げております。万障お差し繰りの上、ご出席下さい。

当日は、母校の恩師古曳元校長、吉田慶継、相川徳平、の3先生をお招きいたしております。ご招待の3先生に直接ご指導をいただいた関係各位は、特に振ってご参集下さい。そして、夫々の恩師と旧交を温め、若き日の思いで話に花を咲かせては如何でしょうか？きっと、あなたの青春時代を、回顧する良き記念となるでしょう。

終りに、母校同窓会への一層のご支援、ご協力を懇願し、併せて母校の発展と、同窓会員各位のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げて、ご挨拶いたします。

日時／6月11日(土)午後3時、場所／埼玉グランドホテル(本庄駅南)、内容／午後3時通常総会 午後4時ティーパーティー(無料)、記念演奏会 柏グリーン・ハーモニー合唱団、午後3時半恩師を囲んで(会費 3,000円)、御招待 吉田慶継(昭6-11)・古曳保正(昭25-28)・相川徳平(昭20-47) 3先生。



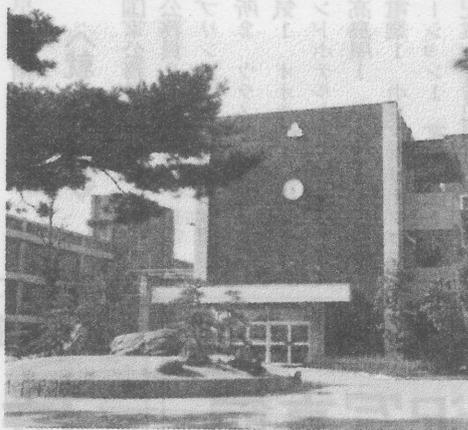
本高同窓会報

発行
本庄高校同窓会
会長 岡 祐 孝
事務所 本庄市銀座3-5-8
岡 病 院 内

事業報告
61年4月 統一地方選で会員候補の激励
5月 新町支部設立
6月(1)同窓会会報No.7発行

スローガン

- 1. 名誉ある歴史と伝統に輝く母校を愛し 母校の発展に寄与しよう。
- 1. 本高同窓会の旗の下に結集し、地域に 香り高い文化の花を咲かせよう。
- 1. 人間関係を大切にし、会員相互間に親 睦の輪を拡げよう。
- 1. 組織を整備強化し、機能的な連絡網を 拡充して、同窓会の活性化を図ろう。
- 1. 建学の精神を尊重し、後輩の指導育成 に努めよう。



母 校 近 況 (管理棟)

- (2) 通常総会開催
- 7月 高校野球応援
- 9月 中高連絡会開催
- 10月(1)国体出場者の激励
- (2) 児玉郡市中小学校 教職員支部設立
- 11月(1)65周年記念講演会 開催
- (2) 同窓会会報No.8発行
- (3) 会員レクリエーション
- 本部役員会及び事務局会を毎月開催
- 62年2月(1)新年会・支部長会議
- 12月 ヨン 年賀状発送
- 3月(1)新会員入会式
- (2) 母校助成金と育英 資金の贈呈



着任の御挨拶

校長 新 藤 格

皆様お元気のこととおよろこび申し上げます。
私は、御勇退されました高
山校長の後任として、この四
月秩父東高校から参りました。
輝かしい歴史と伝統により
磨かれたおらかな校風、そ
ろろで幾多の人材を育成した
本庄高校に参りましたいまは、
身に余る光栄とともに責務の
重大さを痛感しております。
今後は、微力ながらも全力

を傾注する覚悟です。御指導、
御鞭撻をお願い申し上げます。
さて、教育界は「個性の尊
重」を基本に据えて変革へと
動いています。それに伴い入
試のあり方も改革されるでし
ようが、それがどのようなで
あれ、いつの世であれ入試の鍵
は、充実した基礎学力と強健
な身体そして真剣な生活態度
にあることは変わりありません。
私達もこれを踏まえ、平素の

充実した教育活動を基本に、
目標の早期樹立、意識の醸成
等をはじめとした積極的指導
を展開するよう努力します。
なお、六十二年度の概況は
国立大、私立大、短大、専
門学校等、就職、と相変らず
厳しいものですが、来年度こ
そはの意気込みで指導に頑張
る考えであります。

☆ ☆ ☆

進路状況

〈国立大学〉

茨城3 群馬3 群馬県立女
子2 埼玉2 信州1 長岡
科学技術1 電気通信1 高
崎経済1 山形2 東京芸1
宇都宮1

〈私立大学〉

日本26 東洋24 大東文化14
城西11 法政10 駒沢10 明
治7 早稲田10 中央6 立
正7 工学院6 拓殖5 東
海7 学習院4 国学院5

昭和薬科3 女子栄養3 成
漢3 東京工業3 独協4
足工2 跡見学園女子2 神
奈川3 神田外語2 関東学
院3 北里2 専修2 帝京
2 東京経済6 東京農2
東京理科2 武蔵4 武蔵野
美3 明治学院2 立教1
朝日1 亜細亜1 上野学園
1 大妻女子1 神奈川工1
金沢工3 京都産業1 杏林
1 近畿1 国立音1 国士
館1 相模女子1 実践女子
1 芝浦工1 淑徳1 昭和

音1 大正1 高崎芸1 玉
川1 千葉経済1 千葉工1
鶴見1 帝京技術1 東京音
1 東京家政学院1 東京国
際1 東京電気4 東京薬科
1 東北福祉1 日本獣医畜
産1 白鷗1 フェリス女子
1 文教3 星薬科1 武蔵
工1 武蔵野音1 武蔵野女
子1 明治薬科1 名城1
明星1 桃山学院1 和洋女
子1 日本福祉1 二葉女子
College 1 南イリノイ州立
大日本校1

〈短期大学〉

文京女子6 淑徳5 東洋5
城西大女子10 女子聖学院6
大妻女子3 尚美学園3 東

〈専門学校〉

京家政6 東横学園女子3
富士3 立正3 明の星女子
2 跡見学園2 国学院栃木
2 埼玉純真女子3 実践女
子2 白梅学園2 文化女子
2 明治2 埼玉県立衛生1
千葉県立衛生1 群大医療技
術2 学習院女子1 神奈川
県立1 カリタス女子1 川
口1 関東学院女子1 共立
女子1 群馬女子1 国際学
院埼玉1 十文字学園女子1
上智1 昭和音1 昭和女子
1 女子栄養1 杉野女子1
洗足学園1 創価女子1 高
崎芸術1 調布学園女子1
東農大1 東洋女子1 新潟
工業1 新島学園女子1 文
化女子(室蘭)1 文理情報1

神田外語7 パンパシフィッ
クインスティチュート5 埼
学院2 中央工学校3 AR
Sコンピュータ3 国際観光
3 東京会計法律3 東京工
学院3 日本工学院3 埼玉
栄養2 新宿調理2 高崎ス
クールオブビジネス3 千代
田工科芸術3 東京エアート
ラベル2 東京デザインナー2
東京電子3 日本外国語2
日本電子2 文化服装学院2
大宮赤十字付属看護1 埼玉
県立熊谷高等技術1 同県立
北高等看護2 同県立看護教
諭養成所1 国立高崎病院付

〈就職〉

属看護1 東埼玉病院付属准
看護2 群馬病院付属看護2
国立療養所リハビリテーショ
ン4 青山製図1 国際音楽
音響1 埼玉医科大付属看護
1 県理美容1 県歯科衛
生1 埼玉電子工2 昭和医
療技術1 中央医療技術2
東京医薬技術1 東京コンセ
ルヴァトール尚美1 東京
モード1 日本エディタース
クール1 日本競輪1 日大
歯学部歯科技工1 日本動物
植物1 一ツ橋外語1 武蔵
野調理士1 横浜高等教育1
早稲田情報ビジネス1



おかげ様で創業60年

成人式・七五三 西沢写真館

進学就職・証明写真

本庄NTT前・☎22-2286

本庄駅前（北口）

持田薬局

代表取締役 持田直次(中7)

本庄市銀座3-5-18(銀座コーポ1階奥)

同窓会小史

我母校は埼玉県立No.6の中学校として、大正十一年四月開校（初代校長高橋寛文先生）。昭和二十三年四月新制度により本庄高等学校として発足、同九月定時制課程を併置、昭和二十七年七月本庄女子高等学校を本校に統合して本年三月創立65周年を経た。

本庄高校同窓会は昭和二十七年四月外かく団体として誕生。初代会長に増沢清茂氏を選出。母校への充実発展に寄与すると共に、会員相互の親睦向上を目的として現在に至る。



五代 持田直次氏 三代 富沢貞次氏 二代 塩原英雄氏 初代・四代 増沢清茂氏

六代 岡 祐孝氏
写真一ページ

主な事業

- 終戦直後の職員住宅の建設
- 30周年：図書館、プール、体育館の建設
- 40周年：理科棟の建設
- 50周年：合宿所の建設
- 60周年：クラブ棟の建設
- 柏樹祭への出席
- 中高連絡会の開催
- 会報の配布
- 図書・新聞・進路指導への助成金の支給
- 会員名簿の発行（約10年毎）
- 会報の発行（年2回）
- 通常総会の開催
- 支部長会議の開催
- 新年会の開催
- 新入会式の開催
- 卒業記念品の贈呈
- 幹事の委嘱と幹事との懇談会の開催



戦中・戦後

本高開設時に学ぶ

（本高一回卒） 卜部義典

柏塔を仰ぎつ、戦中・戦後の困難な時期に、六か年学んだことは懐しい思い出である。食糧難、物資不足のなかで、まして、価値観の変革のなかで、青春時代を乗り切ることができたのは、自らの気概と母校の伝統の重みであったと思われる。

しかし、ふりかえってみれば、当時の学生時代は、決して生易しいものではなかった。

高校第一回卒のわれわれは太平洋戦争熾烈期の昭和十八年四月、旧制中学校に入学した。質実剛健の校風のもと、熱情あふれる恩師達の薫陶を受け、学友互いに切磋琢磨し、学習意欲を高めあつたものである。雪中裸足朝会も苦にならなかつたし、軽井沢六十四キロ剛健行軍にも挑戦できた。

それも束の間、戦雲剣しくなり、先輩は陸士・海兵・予科練等に志願し、われわれ下級生も、学業半ばで兵器工場に勤労働員させられた。特攻基地・児玉飛行場（現児玉工業団地）の建設当時、利根川原から重い玉石を運搬

させられたが、この児玉飛行場がグラマン機に襲撃されるのを、たまたま母校を訪れて目撃し、機銃掃射の流れ玉に身をすくめた記憶は、今も鮮明である。

生徒不在の柏塔は荒廃し、終戦後、復学したときは、学業目的を失い、茫然と立ちつくしたものであった。

やがて、先輩達とも合流し平和と民主主義を希求する気運のなかで、心傷は癒え青春エネルギーは爆発した。特に、野球は県大会で度々優勝し、甲子園出場一歩手前で惜敗したことが、今昔の思いがする。

学制の大改革により五年制中学校が廃され、新制高校が誕生。五年を卒業すると同時に、高校三年に編入された。この頃になると、自治の気運も高まり、旧校歌「自治向上の旗勇ましく、理想の光輝く柏葉」の精神を生かし、生徒自治会を結成し、環境整備に当たるとともに、生徒守則を決定した。貧しいながらも、希望に燃え若きエネルギーを発散させることができた。

懐しい柏塔は今はない。白亜の校舎が林立しているが、戦中・戦後の変動期に学んだわれわれにとって、木造の柏塔は心の中に強く焼きついて存在しているのである。

母校の発展は、ここに学ぶ生徒達の向学心をいかに燃やすことができるか、また、より豊かな人間性を培うかにかかっている。生徒達の未来は、輝ける二十一世紀に向けて、大きく飛躍するものでなければならぬ。それだけに子弟の薫陶に当たる教師達の責任は重大である。

母校を愛する同窓生の一人として、また、教職に携わる者として、師弟の人間関係をより密にすることを強く願うとともに、緻密な進路指導を行い、社会に貢献できる人間教育の徹底を期待したい。

筆者は埼玉大卒
本庄南中学校長
本庄市前原二二二一五

株式会社 協立印刷

社長 鈴木清司

本庄電話局前 TEL22-3127 FAX24-7141

八谷立戸会

創業永祿三年(1560年)

戸谷全克(旧中23・高1)

営業内容 { 陶磁器部・有料駐車場部
旺文社LL教室(新設)

本庄市仲仙道いせやチェーン隣 22-2008

恩師消息

校長特集

母校創立六十五周年を経た現在、歴代中学校長に消息をお伺いしましたところ、十名の恩師からお頼りを戴きました。謹んで報告申し上げます。

御挨拶

大沢幸平

御校創立六十六年の記念新聞発刊と、御校いよいよ御隆昌ならびに会員皆様の御健勝を御慶祝申し上げます。御校勤務は短期間でしたが数々の思い出昨日のことのように思い出され感謝しております。

つい先き頃八十二才になりましたが家内共々健康に過ぎて頂いております。
(岐阜県可児市川合三三五)

在職当時

古曳保正

私が本庄高校に在職したのは昭和二十五年から二十八年まで、丁度この時学校は本庄女子高を合併して、男女共学を実施した時であり、また県下の高校に率先してプールを新設するなど、世はまだ戦後

中でも恵まれた時期です。最近国会の間接税についての与野党の攻防に憤慨したり、日米の経済交渉に関心を持ちたり、散歩したり読書したりの日々です。
(与野市本町西一十一二三五)

近況

荻野 清

昨年十月三十一日をもって四十九年七か月に及ぶ教員生活にピリオドを打ちました。県公立卅八年、私立高校十一年七か月でした。今近所の中学生在に英語を教えています。もう一つ、四十才の時、ラジオ講座でフランス語を習い始めて卅年、最近漸く初等科高等科両方解るので嬉し。
(本庄市堀田九二二)

第十代

塚原千尋

時は移りて二十有余年たつかしの思出多き本校よ今当時の雄姿を忍ぶ初代校長の面影吾十代の席をけがしながら何の功なく今に残るこの悔み、以後春高六年、浦和教育長四年を経て郷里に帰り最後の孝養のまねごとを果す。現在は「無為徒食八十一才」
(茨城県北相馬郡守谷町坂町五六九)

八十才を越えて

黒崎勝雄

私は八十才を越えました。年相応の健康です。心身共に自由である今は、私の一生の

高橋寛丈初代校長

戸井田 實

高橋寛丈初代校長と酒酌みかわした思い出は深い。先生は若さとユーモアがあり明治の気骨があった。

五十周年記念式典の先生の祝辞は明快な英語で始まり私語する生徒は一人もなく只管聴き入っていた。先生の逸話が多い。老生は先生を偲び乍ら余生を大事に生きている。
(大宮市寿能町二七八)

ご挨拶

藤牧 一郎

ご無沙汰してます。離任以来早九年の歳月が流れました。近況をとのお話ですが取り分け申上げる事も有りません。ジパング利用の年三、四回の旅行、雑書乱読、菜園での野菜作り等等に庶民生活を享受しています。計らず頼らず行雲流水の心境で余生を送りたいと思ふ次第です。
(児玉郡神川町池田八四一七)

私の近況

國谷敏朗

昭和六十一年三月母校を最後に退職、一年間は家の新築に追われて過ぎ、二年目になって町議の方々の推薦があつて町の選挙管理委員を勤めさせていたいております。母校の校長というのは退職してからも忘れてならない責任があると思つています。
(児玉郡美里町根木七五二二)

高山 晃

同窓会の皆様の御援助と御激励を頂きながら、光栄ある母校の勤務に責任を感じ、二年間を無事終了いたしました。厚く御礼申し上げます。目下、教員生活39年の反省と資料の整理、ならびに次の仕事に備え充電中です。よろしく申し上げます。本庄市民として母校を見守っています。
(本庄市前原二一十一)



風をテクノロジーする
サンデンカーエアコン レザム

旭産業株式会社

社長 牛久保和雄(高2)
本庄市沼和田948・TEL 24-2181(代)

寺立城

本庄市銀座3-4-7
住職 加藤玄静(新14回卒)

新会員の声

ありがとうございます
本庄高校
飯島和彦

人生にはいろいろな段階があります。その段階の一つである高校生活は、人生において特に重要なものだと...

今の私.....

柏崎淳子

「未来はためらいつつ近づき現在は矢のようにやく飛び去り、過去は永久に静かに立っている。」

れるのは楽しかった高校生活のことばかり。

友達や先生方と過ごした日々が、本当に矢のようにやく飛び去っていったと思ひます。この間も友達と、学校へ行きたいねなんて笑って話していました。それは、友達にとっても私にとっても本音でありました。そんな母校を慕う気持ち、卒業生であるという誇りを失うことなく、同窓会員として母校発展の為に頑張っていきたいと思ひます。

卒業の想い

戸塚勝己

私が本庄高校定時制に入ったのは昭和六十一年のことです。私の場合三年編入学というので、卒業まではわずかに二年間ということでした。しかし、私にとってこの二年間はとても有意義でありました。授業やクラブ活動も先生や生徒も編入学という私の不安感を、吹き飛ばすかのように毎日を楽しく過ごさせてくれました。

本当に早いものです。あの入学した時の不安感も、友達と仲良くなり、一緒に笑った時の笑顔、クラブ活動での死にもぐるいの皆の顔、この春私はその数々の想い出をこの手に持ち卒業します。ありがとうございます。

教職員の異動

〈転出〉全日制
校長 高山 晃 勇退
教頭 岩田 淳 吉見高校長
講師 小室靖史 滑川高講師
〈転入〉全日制
校長 新藤 格 秩父東高校
教頭 松本 保 児玉農工高
教諭 須田 显 熊谷商業高
教諭 岡屋義之 行田工業高
定時制は当初異動なし。

昭和63年3月卒業新幹事一覽

- クラス 氏名 電話
1 岡芹 純一 (24)四七二〇
2 輪島 弘 (〇)四八五
3 野口 健 (〇)四八五
4 飯塚 直子 (〇)二七四
5 本田 正史 (24)二八四七
6 横島 聡美 (22)二四三四
7 依田絵利子 (21)四三二九
8 原 秀恵 (22)三三六七
9 吉井 千恵 (21)一一二四
10 新井 千尋 (21)九四七九
11 柏崎 淳子 (21)九二九一
12 戸塚 勝己

本部役員

- 会長 岡 祐孝
副会長 立川大作、竹並菜一郎
橋爪茂夫、吉田建治
高木敏子、竹内清四郎
(教頭)松本 保 萩原甚三郎
會計 戸谷全克 江原清吉
監事 斎藤淑人
内野ヨシエ
顧問 塩原英雄、持田直次 (校長) 新藤 格

支部役員

- 本庄連合 立川 大作 中9
宮 本 栗村 龍男 中16
泉 町 竹並菜一郎 中2
仲 町 中田 脩一 中19
上 町 境野 登 高2
七軒町 町田 一徳 高5
本 町 鈴木 清司 中21
台 町 松本 敬一 中1
照 若 飯野 利衛 中19

編集後記

今号は総会案内と歴代校長のたよりを掲載致しました。又、全卒業生に対して終身会費納入の呼び掛けが終了しましたので、全納入者の卒年別氏名を発表させていただきます。主な送先は終身会費納入者、旧中旧女卒業生、名簿購入者、入会5年以内の会員、母校生徒職員等です。○岡部支部設立へ協力要請 ○次回10号は11月発行予定

快適な暮らし 長沼設備工業株式会社

代表取締役 長沼 肇 (中19)
本庄市前原2丁目3番18号・☎0495-24-2434(代)

大型コンピューターからマイコンまでのシステム開発

(株)グローバルソフトウェア

代表取締役 狩野 輝 昭 (高18)
本社 本庄市北堀1141-1
TEL (0495) 24-6561(代)
FAX (0495) 24-3380

再度終身会費納入のお願い

全卒業生への納入呼びかけ終了

親愛なる同窓生の皆様、私達は同窓会の本旨に則り母校への寄与貢献と会員相互の親睦向上に努力しております。同窓会活動のため基礎財源が必要のため終身会費老万円を昭和五拾年持田前会長の時代から訴えてきました。現在千余名の方々の御協力を賜りました。そして昨年十一月の会報で全卒業生のお願いが終了しました。終身会費納入者は芳名簿にその名を記載して永久にご高志を称えることとしております。同窓会報の發送や、總會其の他のご連絡を優先的に致します。何卒、同窓会発展のため倍旧のご支援ご協力をお願い申し上げます。

終身会費ご納入の際には左記口座にご入金下さい。郵便局振込口座番号東京三一八七〇二〇、又は埼玉銀行普通預金口座番号本庄一八九一〇一〇七七七三。謹告。すでに終身会費を納入いただいた方にも「郵便振替用紙」が同封されますので振込まないようお願いいたします。

本高同窓会役員一同

終身会費納入者芳名(卒年別)

敬称略

昭和63年3月31日現在

- 中1 (員数六七納入者数三) 柴崎 亮 中村榮寿 増沢清茂
中2 (七十一) 塩原英雄 富沢貞次 日向喜平
中3 (八八一四) 森田徳英 茂米米作
中4 (七三一九) 新井満次郎 内山栄一 金井文雄
中5 (七九五) 黒沢敬次 坂本良全 高川勝雄
中6 (八一六) 金山一雄 河田六郎 坂本正義
中7 (七七一七) 関口昌助 萩原 順 馬場博博
中8 (八七一六) 矢代 登 吉田耕作
中9 (八四一六) 朝比奈利雄 飯島 彰 飯野善郎
中10 (八一二六) 朝比奈慶光 豊国智堂 新井勝雄
中11 (八七一〇) 丸橋寿男 長谷川寛
中12 (八六一九) 大倉正雄 坂本敬信 篠崎郁三
中13 (九三二四) 松崎健二郎 持田善丸 中村銀一郎
中14 (八五四) 川田日出夫 戸谷孝二 山口仁一
中15 (九一七) 青木 弘 倉森 淳 新井健信
中16 (九〇一三) 伊藤菅治
中17 (二〇一三) 飯島 巖 石井 薫 江川郁夫
中18 (九六一六) 秋元基樹 朝熊 勇 新井厚明
中19 (二五一一五) 相川武雄 浅尾進一郎 新井康友
中20 (二五〇一五) 岩本英人 岡岸昭三 高山 晃
中21 (四〇一三) 鈴木清司 徳世 近 細井精一郎
中22 (二五一一三) 浅見篤郎 石原道夫 府川昭男
中23 (二六四一一) 市川和夫 岡村和政 小此未重
中24 (二四一一) 栗原和夫 相馬照明
中25 (七三二四) 神岡順次 近藤忠徳 高野 始
中26 (七二四) 赤沼賢一 木村保明 竹並菜一郎
中27 (三九一一) 実1 (二八一〇) 実2 (二五一一〇)
中28 (三九一一) 実3 (三九一一)
中29 (三七一〇) 実4 (三七一〇)
中30 (四八一) 女1 (四八一)
中31 (四三一一) 女2 (四三一一)
中32 (七五一六) 女3 (三九一一)
中33 (七五一六) 女4 (七五一六)
中34 (七一一) 女5 (七一一)
中35 (七三二〇) 女6 (七三二〇)
中36 (六五十五) 女7 (六五十五)
中37 (七一一) 女8 (七一一)

OKA HOSPITAL
本庄市銀座3丁目5-8
電話(0495)22-6921(代)

岡病院
内科・小児科・循環器科・放射線科
胃腸病科・呼吸器科・理学療法科
人工透析・人間ドック
院長 岡 祐治 孝道 政
副院長 岡 善
副院長 岡 善

高柳齒科医院
院長 高柳 育行(高24)
本庄市南2-6-16 TEL 22-6480

- 杉浦シマ 内野ジャウ
女8 (七二一〇) 原田一子 齊藤まさ江 小泉マサ子
須永達子 高木敏子 出川一子
境野 妙 小暮謙子 中島トウ
児玉岩代
女9 (六三三三) 高橋みよ子 加藤千代子 土田貞子
女10 (七八一五) 内田とみ 今井ケイ 河野さだ子
水垣郁子 加嶋伊勢子
女11 (八九一三) 渡辺セシ 工藤君江 仁平礼子
女12 (八五一六) 福島富美子 西川照子 俣田静子
島崎 弓 金子富美代 塩原昌乃
女13 (九五一五) 飯塚治子 茂木 琴 平井常子
岡 禎子 亀井佳子
女14 (九一一五) 飯島登志子 山口文子 齊藤美登
河田登茂江 星野のぶ
女15 (九九一九) 齊藤富子 梅沢照子 小林雅子
河野恵美子 橋本花子 根岸富子
高田 良 高橋敏子 有賀美代子
女16 (九八一六) 佐藤千鶴子 武正和子 内野ヨシエ
福地典代 芝 房子 大出かほる
女17 (九九一七) 日向恵子 谷田ヒロ子 岡マサ子
境野田鶴子 持田功子 細野シ代
中山深雪
女18 (九九一三) 根岸久子 阿久沢達子 善理ツネ子
女19 (二〇七一九) 金井トミ 黒田陽子 清水美代子
荒井恵友 井田悦子 山崎典子
秋谷美恵子 佐々久栄 佐藤禮子
女20 (二一九八)
- 武井陽子 浅見郁江 宮本千代子
大島典子 黒岩ハム 宮崎美代
野口愛子 久保田文子
女21 (六七一五) 森元陽子 牛久保郷子 伊藤百合子
加藤当子 高野いと子
女22 (七〇一六) 坂野和子 伊藤元枝 庄田三重子
金井澄江 吉岡美智子 大野弘子
女23 (六七一七) 森田文子 福島章子 森田昌子
高田節子 上条房江 池田貞亨
塚越照子
女併1 (五七一) 笹井好子
女併2 (三四一二) 卜部登美子 井河菜子
高1 (六二二一三) 卜部義典 小内誠一郎 久保田昭治
黒沢信男 柴崎 晋 篠崎達雄
武正義雄 戸谷全克 中原和喜
藤野栄一 逸見嘉正 脇坂佳治
茂木二郎
高2 (二八三二六) 浅見靖夫 上原賢博 根岸桂一朗
立野雄一 矢崎昭夫 須賀 裕
真下博孝 牛久保和雄 田端義信
戸久信男 吉田建治 若林 茂
塚越寿衛 横田耕治郎 鈴木和夫
浦野征房 福島満明 中田省三
太田宮入 新井一夫 小崎 直
高野保夫 松本孝二 卜部富子
山田節子 加藤欽吾
高3 (二八四一四) 青木謙二 飯島康男 大谷昌久
大野文雄 海保 晃 金子由之助
川瀬 晃 萩原吾郎 倉林 毅
黒田浩次 小泉正信 佐々木重
斎藤 章 塩原正美 関口雅之
田島栄作 田島 弘 高柳慶一
- 戸塚克男 内藤 明 春山一三
橋川利夫 運沼賢次郎 福島好正
増野武夫 若松邦彦 秋山芳子
山口幸子 木村八重子 古田桂子
小野節子 亀田愛子 三沢いく代
丸岡エイ子 村山美恵子 倉林陽子
中井芳英 福島昌子 吉岡厚江
間庭芳江 山本歌代子
高4 (三四七四三) 相川 彰 青木秀弘 石渡初代
飯塚松美 池田敬子 井上喜美雄
内野昭八郎 江原清吉 大沢健司
金井克視 金井近夫 新井芳子
河田好雄 河野元一 黒澤一徳
田中洋子 今野隆昭 大原明子
坂本晃一 柴崎起衛 清水 奨
庄田孟史 関根克司 高橋利夫
齊藤照子 中野 恒 久藤富子
川路清子 阿部和子 松原 俊
松原康男 松本 茂 沖元光代
見目晴哉 松山よし子 宮崎郁吉
笠原君代 須藤茂子 矢島 稔
加古親馬 山口敏裕 小暮富司
館田文子
高5 (三五五三二) 飯塚隆司 千田米子 岡田 実
鈴木俊子 荒川治枝 木村和義
栗田吉明 黒澤 健 坂本 坦
清水 勲 清水禮壽 諏訪秀一
関口敏明 関口祐一 関根 貢
倉田佐子 高橋純二 風間玉江
常木茂司 山田良子 金井澄雄
中沢 要 山口美明 根岸雄三
野枝直治 野村清子 大木美美子
長尾喜美江 窪田章子 町田厚太郎
山田鎮政
高6 (四一八四四) 野口礼子 新井 茂 飯島八千代
岩田幸彦 内田ふさ子 竹内恵美子
飯塚禮路 小野里重子 栗原勝信
- 小菅 卓 小林喜一郎 小林伸吉
近藤 徹 河田弥代 坂本正彰
塩原慎一 柴崎武治 柴田 実
島田徳三 吉井良子 城田博子
須賀栄一 桑原美知子 鈴木一清
大場順子 河辺貞子 高山一雄
岡田久子 戸谷修康 牛込トシ子
野口恭一 坂本園子 井田正子
船戸鏡聖 古沢洋一 島田澄子
町田 顕 松原文司 松村経子
青山年子 矢代和正 柳田伸吉
山本勝美 渡辺道夫
高7 (四〇九三三) 青木六郎 阿佐佐美子 荒井正夫
飯島茂明 井上章吾 遠藤 武
大林晴美 広田みつ江 岸田正久
木村喜美枝 木村久子 藤塚則子
小林 司 齊藤 樹 富井絹子
諏訪重明 関口道子 高橋 宏
桑原初江 立野政雄 土田美夫
巴 行雄 中島春夫 野口幸子
小賀野美智子 福島 広 古達節子
保坂浩哉 蜂須和枝 宮崎忠男
小杉キミ子 春山茂之 鷲宮 滋
高8 (四〇七二〇) 青木 彰 角谷八千代 今野佳子
中山昭子 小沢和枝 川辺鉄哉
越智光枝 桜井穂積 小川カネ子
関根若子 高橋幸子 齊藤佳子
春山 直 中野節子 古沢 博
増沢弘人 高橋美恵子 見塩治子
小林美代子 山本厚生
高9 (四〇四一三) 三田希良 高橋知子 梅村孝雄
萩野秀雄 村井里志 織茂初枝
加藤直司 門倉止肇 金井俊夫
川端勝治 鬼沢善男 木村悦子
徳地雅子 田村登美子 栗原伝一郎
納見高子 藤間絹代 西川公子
坂本幸夫 大庭富子 古郡百治
- 杉山喜一郎 関根邦夫 横田梯司
沢渡恵美子 田部井高久 高橋克己
形山将行 大越靖子 古田浪子
長沼重行 塚田紀美子 橋爪国典
村岡伸一 木田房子 坂上スミエ
高10 (四〇〇一三) 井上章三 土谷洋子 小林禮夫
齊藤淑入 日向光子 栗原ノリ子
柴崎起三雄 白井昭子 須藤好夫
中野浩司 岩田紀美代 富田好勝
山下精治
高11 (三九九二九) 飯島英夫 萩原 昭 入 和男
北原俊子 北川 茂 木村ちよ
小暮一弘 小暮紀美子 粕谷桂子
重野光行 天田登志子 関根義夫
塩原朋代 江原節子 常木敬司
太田和子 野口邦雄 深町和男
福島 豊 小林明子 星野三郎
川田悦子 田端晴江 宮関 元
松田淳子 柳 紀雄 細野房江
山田米作 湯浅和夫
高12 (四〇八一三) 新井栄治 谷本洋子 稲山鶴代
高橋三子 木村正明 久保田幸三郎
金子康江 小暮美智枝 小林 晶
小林美好 塩原稜一 竹井静江
白石 正 内田睦夫 中野朋子
関根邦保 武藤庸子 中村多美子
能勢 栄三 須弘 朗 茂木孝彦
塚本たつき 千島のり
高13 (三九五一一八) 秦 静子 石田祐寛 大塚俊雄
岡根正雄 小澤徹之 久保梅子
佐々木義弘 井田紀洋 土岐君子
横堀洋子 中村 勝 松本節子
福島八郎 田島美智子 宮田典雄
茂木秀夫 加納弘子 石原悦子
高14 (四〇六一三) 塩原尚枝 戸森清子 伊倉且典

WEDDING PALACE

五州園
 0495-22-5225

総合建設業

 株式会社 **金子組**
 取締役会長 金子 敏 隆 弘
 取締役社長 金子 子
 本庄市本庄 1-1-7 ☎ (0495) 22-4117(代)

入 利雄 中原幸子 牛久保敏一
 内田作治 今仁厚子 真下惠美子
 金井由美子 菊地 隆 井田君子
 荻野恵子 小暮勝良 富田百合枝
 塩原 勝 清水俊彦 戸谷洋一郎
 大沢洋子 富田英夫 小野英彦
 並木初江 深澤信一 中原きみ子
 松本洋子 大塩都代子 丸山 勇
 宮部 彰 茂木勝一郎 吉田俊子
 森 範昭
 高15 (三八六一三)
 江原徳江 大木忠孝 大沢秀男
 横関洋子 吉田真紀子 金子一男
 小川圭子 野本勝子 畑中利子
 坂本 潔 塚間洋子 福島道夫
 須藤美恵子
 高16 (三八一九)
 渡部満彦 久保敦義 小林玉枝
 杉山悦子 矢沼公枝 宮本幸子
 木村幸子 山田和彦 大橋正子
 高17 (四七〇一二)
 飯島弘子 石川衛之 菅沼悦子
 尾崎志津子 上野正文 小沢鋭男
 内田八代 新井克恵 小暮浩一
 小林照行 斎藤収弘 鹿田 勇
 杉上 昇 高橋脩也 塚越純子
 鈴木弘子 野沢光子 萩原敏夫
 永野史代 前田修二郎 松本真明
 高18 (五三一一二)
 伊久間邦夫 岩上雄作 落合誠一
 富沢峰雄 門倉英幸 亀田能紀
 川上芳男 幸田優一 鈴木章三
 高橋敏夫 渋谷絹恵 田中茂夫
 井上富美枝 田中靖夫 鳥羽 登
 早川慎一郎 福田利子 星野武男
 塩原正明 金子房枝 吉田敏一
 高19 (五一四一四)
 荒井登志雄 遠藤美恵子 今井 勉
 植原育雄 内田規晴 恩田高治
 村山俊子 小暮和雄 古指輝次

駒沢文雄 小谷野博 清水一夫
 中村ミネ子 相馬義一 高木 哲
 大沢よし子 手計京子 堀込茂正
 丸岡昇三 南 敏雄 柳田孝二
 黒沢恵子 山崎梅子 丸橋和枝
 高20 (五三二二三)
 新井邦洋 坂本清美 大谷謙史
 大塚一男 門倉 実 荻原敏子
 小林和雄 桜沢恭治 佐藤雄司
 塩原 博 島崎俊明 清水英夫
 鈴木律子 柿沢治男 中沢広志
 葛和真澄 中西 守 中野修一
 長野幸三 平野きみ子 吉内由紀子
 宮沢富雄 目黒輝久
 高21 (四九六一九)
 松本 章 磯野 隆 内山美喜
 金子 勝 田端義雄 中原 実
 坂本花子 堀川 明 松村 修
 高22 (四九九一六)
 大塚育子 岡岸正美 清水和子
 小林正嗣 富田 進 柳瀬敏江
 高23 (四八五一九)
 江黒敏憲 神尾和子 神戸敏寿
 田島利江 坂谷内弘美 八代清恵
 長井公男 垣島恵美子 吉川千鶴子
 高24 (四七一七五)
 小池公子 小野里信孝 阪上恵彦
 関口正美 高橋純一 高柳育行
 田島省一 斎藤静子 永山静夫
 長谷川佐知子 和田直志 櫻庭俊子
 星野 一 宮本信夫 森 幹男
 高25 (四三〇一六)
 飯塚能成 鹿沼高志 島田義明
 森 米子 須藤直俊 北川千代子
 高26 (四〇七一一)
 井上正敏 田島直樹 田端基人
 塚越 肇 野口卓也 堀池 実
 松崎隆良
 高27 (四〇五一五)
 飯田 潔 五十嵐英治 大沢重秋

杉島秀幸 松永正恵
 高28 (三二一一七)
 石川利一 渡辺幸子 丸山淳子
 山本康夫 高橋由美 吉場伸広
 平賀雅実
 高29 (四一八一〇)
 小島 悟 吉田達夫 青木三亀男
 茂木研次 安齊宗祐 深沢三郎
 阿部祐司 山本 勲 西 靖彦
 中嶋 宏
 高30 (四〇四一五)
 寺尾好夫 岡田正則 根岸由幸
 浦野実成 中山佳則
 高31 (三九三一一〇)
 矢内益己 萩原章司 渡辺勝徳
 高野圭子 蘭部光一 芦田友彦
 馬場栄子 森 敏昭 福岡徳子
 吉田博一
 高32 (四〇九一一〇)
 荻野 誠 吉田 稔子 馬場廷枝
 立野博一 小池弘治 荒川 忍
 野口 修 河田典雅 久保弘美
 新島俊裕
 高33 (四〇七八)
 上原正和 原島訓雄 小川雅博
 多田 永 石川晴美 新井伸一
 山本仁也 浦野賢行
 高34 (四〇五九九)
 内田美佐子 庄田悦子 杉本好子
 神部卓也 小川 智 荻野芳男
 山下和幸 楠小百合 加納賢一
 高35 (四〇七一一)
 吉田真典 森村和宏 榎 和子
 堀口明步 生方岳人 中島弘子
 子安 香 吉田健志 笠本健敏
 小野弘美 飯島裕司
 高36 (三九七一〇)
 下田浩之 堀みつる 高柳幸雄
 斎藤 寛 根岸 功 藤原由美子
 佐藤孝司 松本たまき 関延昌夫

湯浅浩史
 高37 (三九八一五)
 小川直樹 木村 功 加納 一
 高橋正樹 石川恭之
 高38 (四〇〇一一)
 大屋 崇 朝倉通子 天田陽子
 神田朋子 小山美佐乃 持田文字
 生形敏幸 戸谷収一 荻原路恵
 中野美和 真尋孝子 原沢苗美
 柳 敦子 井上彰宏 大塚 学
 吉田一信 大野知子 大屋秀美
 深作和久 山本公紀 武井優子
 高39 (四〇二一五)
 秋山 明 鶴山和美 大澤恵理
 大石有美 岩村勇一 吉田志伸
 中井康二 今井裕美 宗像幸夫
 新井満江 飯島弥生 今泉 明
 大木美佐子 田島隆行 毛 文義
 定一 (三一一)
 島村 弘 松本敬一
 定2 (二〇一三)
 黒田達雄 竹内清四郎 吉田昭雄
 定3 (四六一五)
 荒井 茂 飯塚 栄 山口勝吉
 松原和三 沢 潤
 定4 (八六一六)
 高月永作 日向義雄 江原俊夫
 小林哲夫 関口八朗 宮原利久
 定5 (二六一一)
 亀田 弘
 定6 (七六一三)
 小賀野幸作 佐藤麗子 立野栄一
 定7 (七三二六)
 恩田三郎 栗原悦雄 竹内孝三
 藤野広統 森 彰 渡辺芳一
 定8 (八一三三)
 神長金義 小林金重 小林弘子
 定9 (六四一四)
 石川 薫 河田英子 杉山則子
 細谷保夫

定10 (四七一一三)
 金井照季 高村真三 田島泰々子
 定11 (六九一一)
 金井文太郎 設楽正春
 定12 (五八一一〇) 定13 (五七一〇)
 定14 (六三一一)
 坂上忠正 山口丈男
 定15 (四〇一〇)
 定16 (四三一一)
 大塚 宏
 定17 (七六一〇)
 定18 (八一四)
 池田修爾 大場正明 小林正夫
 中沢 敏
 定19 (六八一一三)
 大塚 実 豊田朱美 塩原 豊
 定20 (七九一〇)
 定21 (五七一)
 千田 昇
 定22 (七一)
 清水美広
 定23 (四二一〇) 定24 (四〇一〇)
 定25 (五〇一一)
 荻野千鶴
 定26 (六六一〇) 定27 (三六一〇)
 定28 (二九一一)
 原島千代子
 定29 (二二一〇)
 定30 (二四一一)
 志塚武三
 別1 (二二一〇) 別2 (二二一〇)
 別3 (二二一〇) 別4 (七〇一〇)
 別5 (五二一〇)
 別6 (四六一一)
 栗原喜代子
 別7 (三九一〇)
 別8 (三六一)
 井草光孝
 別9 (七〇一〇) 別10 (三二一〇)
 別11 (二四一〇)

竹並一級建築士事務所

竹並建設株式会社

代表取締役 竹並 栄一郎

〒367 埼玉県本庄市西富田303-1
 ☎0495-21-2001・FAX 0495-21-3969

内科・小児科・消化器科

富 沢 医 院

院長 富沢峰雄 (高18)

☎0495-22-2270